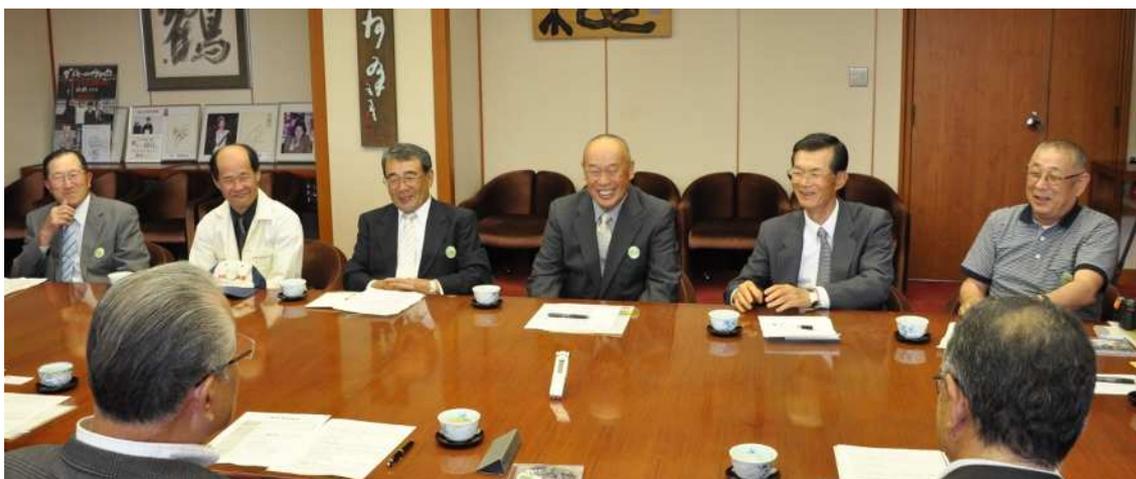


第25回「市民と市長のふれあいトーク」の内容（要旨）

と き 平成28年5月13日（金）
テーマ 地域での農業について
参加者 植本 幸男さん（神代）
甲元 英治さん（ " ）
今井 慶一さん（ " ）
江原 昭典さん（ " ）
安藤 隆章さん（ " ）
森宗 豊さん（ " ）

「元気で明るく楽しく」を合言葉に、地域で農業活動をされている農事組合法人・アクト神代村の皆さんと市長が意見交換を行いました。



参加者 神代地域で今後も農業を続けていける仕組みを作るためには地域の農業者同士が協力し合うことが必要だと考え、農事組合法人（集落営農）を立ち上げました。耕作放棄地を作らないようにするため、作付けを工夫するなど、先代から受け継いだ大切な田畑を子どもや孫の世代に引き継ごうと、できることから取り組んでいます。

市長 近年、耕作放棄地の発生防止が大きな課題となっています。地域の農業者が協力し合い、地域の農地を守っていく集落営農の取り組みが広がると良いですね。

参加者 わたしたちの強みは団結力と行動力です。メンバーそれぞれが得意な分野を持っていて、水路の改修や獣害の防護柵の設置などで、その技を発揮しています。

また、みんなで農業を行うと、さまざまな良いことがあります。例えば、病気で農業ができなくなっても、お互いに助け合い、支え合うことができます。さらに、みんなで作業をすれば、楽しさ倍増、苦しさ半減となり、困難なことでも乗り越えることができます。これからも、みんなで楽しく地域の農業を活性化していきたいですね。そして、近隣の集落とも農業で協力し合える体制がとれるようになれば良いなと思っています。

今後は、地域の皆さんと収穫祭を行うなど、農業で地域を元気にしていきたいです。また、わたしたちが一生懸命農業を営む姿を子どもや孫に見せることで、次世代に農業が引き継がれ、地域のふれあいや田畑などの原風景が守られていけば、うれしいですね。

市長 志を同じくするメンバーが、小さなことから一生懸命取り組んで大きなことをやり遂げるという姿勢に感銘を受けました。

定年帰農者などが地域に根付いて農業を地域づくりに生かすことで、若者が将来戻ってきたくなる地域になれば良いですね。市としてもできる限り応援したいと思います。